

スズキ、インド・グジャラート州での新工場用地の購入を決定

スズキ株式会社（以下、「スズキ」）のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社（以下、「マルチ・スズキ」）は、インド・グジャラート州サナンドに建設する四輪車生産工場の用地を同州政府から購入することを決定しました。

マルチ・スズキは、2024 年 1 月にグジャラート州での 2 拠点目となる新工場建設について同州政府と基本合意をしています。

グジャラート州は、充実したサプライチェーンやインフラに加え、港湾への近さから、インド国内市場向けの生産拠点としてのみならず、完成車輸出拠点としても優れた立地です。また、新工場を建設するサナンドは、高速道路や鉄道網へのアクセスの良さが特長です。

スズキは、今後のインド四輪車市場の成長およびインドからの輸出拡大に備え、生産能力の拡大を計画的に進め、『Make in India』に貢献してまいります。

●新工場の概要

所在地	グジャラート州サナンド（Sanand, Gujarat）
面積	約 700 万㎡（約 1,750 エーカー）
生産能力	100 万台／年
土地購入額等	496 億ルピー

●マルチ・スズキ 四輪車生産拠点

	稼働開始	面積	生産能力／年
グルガオン（ハリヤナ州）	1983 年	約 120 万㎡	70 万台
マネサール（ハリヤナ州）	2006 年	約 240 万㎡	90 万台
ハンサルプール（グジャラート州）	2017 年	約 260 万㎡	75 万台
カルコダ（ハリヤナ州）	2025 年	約 324 万㎡	25 万台
合計			260 万台

以上